



東西洋地観の衝突と相克化

Collision of East-West Views of Earth

目次

- 1 地観の定義と背景
- 2 世界観的衝突: マテオ・リッチと天主実義
- 3 物質的衝突: 北京条約と東学
- 4 天地関係の相克化-西洋の場合
- 5 天地関係の相克化-東洋の場合
- 6 結論および示唆点

地観地観の定義と背景

- 地観とは何か?
- 東洋と西洋の伝統的な地に対する観念
- 地: 崇拝的存在 vs. 質料的存在
- 東西地観の根底にある世界観

 東西地観の対比

世界観的衝突マテオ・リッチと天主実義

- マテオ・リッチの西洋質料的地観の導
- 入『天主実義』を通じたアリストテレス存在論的世界観と東洋の理気論陰陽五行の衝突
- 西元素(地水火風)と五元素(陰陽五行)の比較
- 当代の東洋知識人に及ぼした影響

物質的衝突北京条約と東学

- 北京条約など西洋に対する中国の敗北:「天が崩れる衝撃」
- 魯迅(魯迅)の『阿Q正伝』:精神分裂的状况に至った中国人の姿
- 水雲崔濟愚と東学の創道:西洋文物への自生的対応
- 東アジアの自生的近代性の模索とその切実さ

天地関係の相克化-西洋の場合

- 超越的天観、地観への内在的概念の導入
- 科学技術の発展とともに天地関係の相克化
- 第五元素から原子論への変化
- 人間と自然、神と自然の分離の拡大

西洋の科学と世界観の変化:

西洋の天地関係の変化

地水火風の相関的属性が消え、原子論的世界観により天地関係がさらに相克化。第五元素が唯一神へと固着し、自然は単純な物質へと転落。

天地関係の相克化—東洋の場合

- 伝統的の天門地方(天圓地方)・天文地理(天文地理)の固着化
- **天尊地卑(天尊地卑)、陽尊陰卑(陽尊陰卑)の公式化過程**
- **土(土)の実体化と天・地概念の分離**
- 陰陽五行における土(土)の位相の変化と
問題点



陰陽五行説において土(土)は天と地を連結する中心要素であったが、次第に地の実体としてのみ認識され、天地関係の均衡が喪失

結論および示唆点

- 東西地観の衝突の意味と現代的含意
- 天地関係の相克化の教訓
- 東西思惟の統合可能性および未来展望

「東西洋の地観の調和的統合は現代的な生態危機と環境問題解決の糸口となりうる」

